

## なんと切手図案まで盗用！

平 岩 道 夫 (切手評論家)

世に盗用，盗作は少なくないが，切手図案にまでこの問題があるとは……。

日本では，昭和33年（1958年）12月10日に“世界人権宣言10年記念切手”1種が発行された。（写真①）

これは国連の第3回総会で採択された世界人権10周年を記念して，国連に加盟する各国が発行することになったため協力したもの。

切手の図案には，人権をあらわす炎が描かれており，ダイダイ，青，濃青，紫の4色刷りの美しい切手と人気も上々——。

ところが日本のこの切手と，図案も，刷色もまるで同じという，奇妙な切手が登場，日本の切手収集家たちをびっくりさせた。

南米はパラグアイから発行されたもの（写真②）だが，もちろん“世界人権記念”という主旨で，発行日は日本よりも1年以上もおくれた1960年4月20日。ずいぶんずれた発行だが，南米諸国ではあまり時期にこだわらず，記念行事が終わってからも，平気で記念切手を発行する例があるので，この点はとりたてて問題にすることもない。

しかし，日本とパラグアイのこの2枚の切手は，どちらかが真似したものである，といっても間違いはないだろう。

いまや1年間に3,000種，3時間に1枚の割合いで世界のどこかで新切手が誕生し



写真①



写真②



写真③

ている昨今，偶然に図案や刷色が似てしまった——という例も，ないとはいえないが，この人権切手だけは，明らかにパラグアイが日本の切手から，図案を盗用したものととして，当時話題をにぎわせた。

▶ コロンブスの望遠鏡は図案ミス！

ところで，西インド諸島の発見者コロンブスを描いた切手の中には，奇妙なものもある。（写真③）

西インド諸島の英領キッツ・ネビスでは，1903年にアメリカ大陸を発見したコロンブスを描いた切手を発行したが，この切手には大きな誤りがある。図案をよくご覧ねがいたい。

コロンブスが死んだのは1506年。望遠鏡が発明されたのは，それから100年もあとの1608年なのだから……。つまり望遠鏡が発明されていないのに，望遠鏡で新大陸をながめるナンテいうことはできるわけがない。明らかに図案のミス！

「この切手の図案を描いた人が，歴史の勉強をいかけんにしたためだろう」とは，口の悪い人もいたものだ。